

令和8年度 三宅地区（三宅村・御蔵島村）校長会

1 活動方針・重点事項

東京都三宅支庁の所管する自治体は三宅村(人口約2,200人)と御蔵島村(人口約300人)の2村である。管内には公立学校5校(三宅島に保育園1園、小学校、中学校、高等学校が各1校、御蔵島に保育園1園、併設の小中学校1校)がある。このうち小学校2校で校長会を組織し、中学校長会と連携しながら管内の教育課題に対応している。三宅島と御蔵島は地理的には近接しているものの、海況や交通事情により対面での会合には制約がある。しかし、月1回開催される東京都教育庁三宅出張所主催「校長連絡会」には、都立三宅高等学校長、各村教育委員会も参加し、教育課程の充実や教育行政上の課題について協議と情報共有を図っている。

2 活動・取組

(1) 役員体制

会 長：廣瀬 京子（御蔵島小中）〔会計担当〕 都幹事：木須 和広（三宅小）〔人権担当〕

(2) 小・中・高等学校長による連絡協議

教育課程の運営状況、教員の資質向上、児童生徒の生活指導、今日的な教育課題など多岐にわたるテーマについて協議している。また、島しょ教育の中・長期的な展望を踏まえ、予算要望等も含めて各教育委員会への提言を積極的に行っている。

(3) 都小校長会・代表校長連絡会への参加

都内出張には船中泊を含むため最短でも3日を要し、参加が困難な場合もある。しかし、都内の最新動向や他地区の教育課題を把握できる重要な場であるため、可能な限り出席に努めている。

(4) 島しょ校長会・都へき地教育研究会への参加

長期休業中の研修であり、管内全校長が参加している。島しょ地域が抱える共通課題について協議し、各校の実践を共有する貴重な学習機会となっている。

(5) 保小中高一貫教育の推進

三宅教育研究会を中心に、保育園から高等学校までの学びの連続性を確保するため、年間7回の協議を行っている。

(6) 経営研修の実施

管理職候補者や主任教諭等を対象に、講話、論文指導、面接指導などを行い、学校経営に必要な知識・技能の向上を図っている。

(7) 学校組織マネジメント研修

危機対応、人材育成、メンタルヘルス等、学校運営に不可欠な内容の研修を実施している。

3 特色・特徴

三宅島では5月に小・中合同運動会を実施し、御蔵島でも同時期に小中学校運動会が開催されている。地域住民が多数参観し、島全体で子どもを支える文化として定着している。

また、6月には御蔵島小学校4年生が三宅小学校を訪問し、体験学習や交流活動を行うなど、海を越えた児童のつながりが育まれている。

4 課題

多くの教職員が3年単位で異動するため、教育課程の継続性確保が重要な課題となっている。異動の偏りを抑え、組織としての継続性を維持することが求められる。